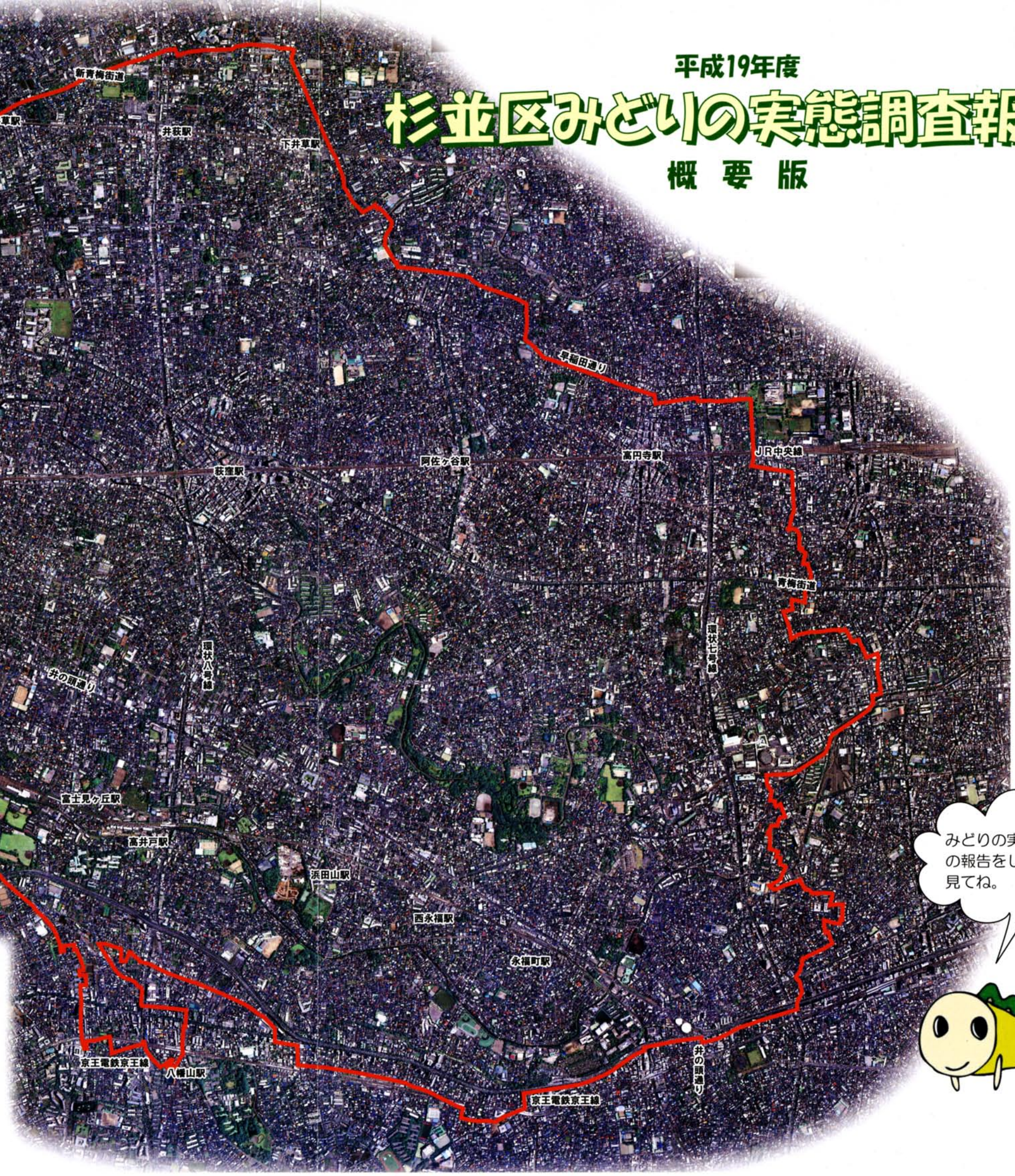


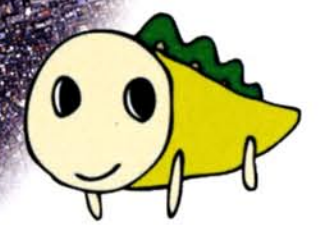
平成19年度

杉並区みどりの実態調査報告

概要版



みどりの実態調査
の報告をします。
見てね。



歩きながら、**元気と文化が**
生まれる街。

<問い合わせ先>

杉並区都市整備部みどり公園課
杉並区阿佐谷南一丁目15番1号
電話(03)3312-2111(代)
平成20年3月発行

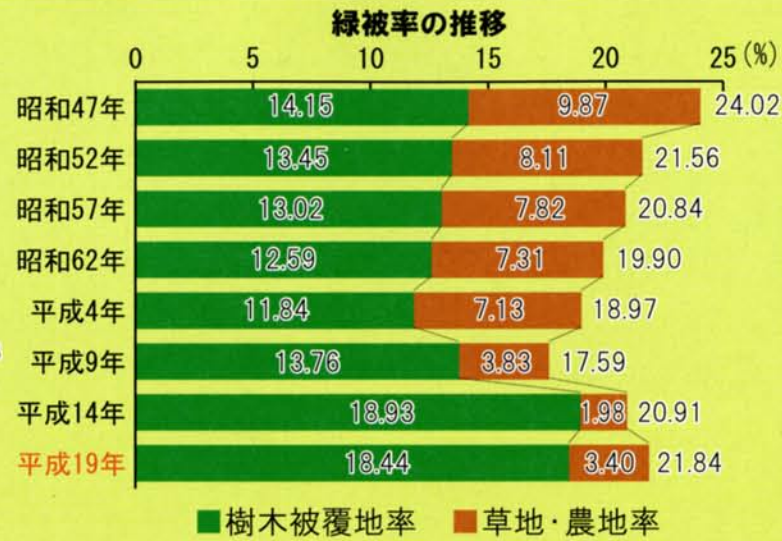
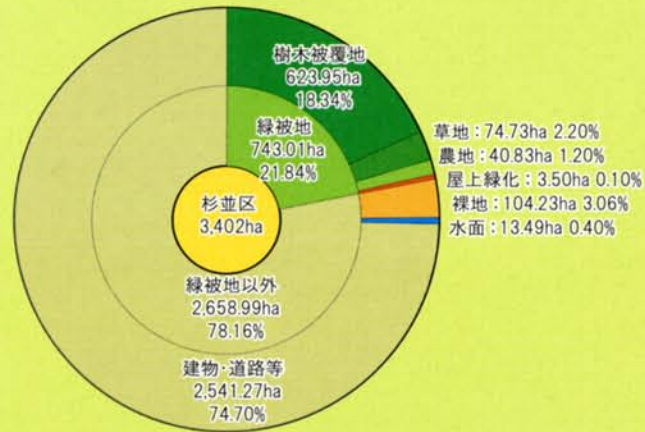


写真撮影：平成19年6月13日

<杉並のみどりの現況>

緑被率 21.84%

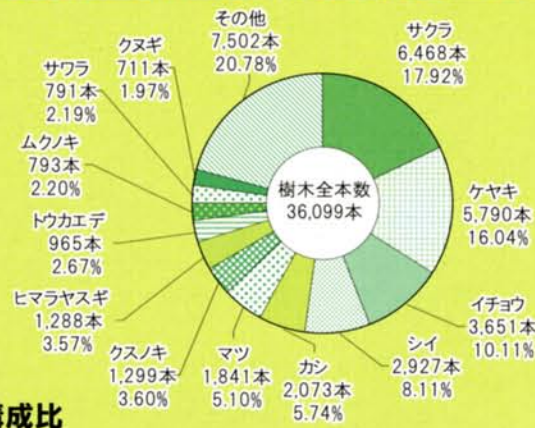
区全体のみどりに被われた面積は743.01haでした。これは区の面積の21.84%です。



緑被率とは、平面的な緑量把握の尺度で、樹木や草などの緑で被われた面積が、区域面積に占める割合のこと。

樹木本数 36,099本

直径30cm以上の樹木が36,099本確認されました。中でも多かったのはサクラで6,468本、次いでケヤキが5,790本、イチョウが3,651本、シイ2,927本でこの4種で全体のほぼ半数を占めています。



樹種別樹木構成比

樹林 1,145箇所

所有形態別にみた300㎡以上の樹林は1,145箇所 177.53haありました。

形態別にみると右表のとおりです。

公的樹林（公園、公立学校等）と私的樹林（屋敷林、社寺林等）に分けてみると

公的樹林は83.65ha (47.1%)

私的樹林は93.88ha (52.9%)でした。

区分	箇所数	面積 (ha)
公園	230	62.94
屋敷林	376	31.42
社寺林	89	22.48
私立学校	20	10.83
民間等のグラウンド	12	3.05
雑木林	13	2.66
公立学校	69	11.64
その他の公共施設	75	9.07
その他の民間施設	181	15.10
竹林	13	0.89
その他	67	7.45
区全体	1,145	177.53

形態別樹林現況

接道部緑化率 23.03%

区全体の接道部総延長は約1,941kmで、緑化されているところが約447kmあり、接道部緑化率は23.03%でした。

このうち生垣の延長は約90km、植込・植栽帯の延長は約288kmでした。

接道部緑化率とは、敷地の道路に面した部分（接道部）の、生垣や植込などの緑化された延長が、接道部延長に占める割合のこと。

接道部の状況

分類	延長 (km)	割合 (%)
緑化有り	447.1	23.03
緑化余力有り	599.1	30.86
緑化余力無し	894.9	46.10
合計	1,941.1	100.00

※割合は小数点第3位を四捨五入しています。

壁面緑化 272箇所

区内の壁面緑化は272箇所8,199.9㎡ありました。樹種をみると、ヘデラ 107箇所 3,245.6㎡、ナツツタ 74箇所 3,655.1㎡で全体の半数以上を占めています。

屋上緑化 882箇所

区内の屋上緑化は882箇所 35,015㎡ありました。平成9年度調査では189箇所 6,361㎡、平成14年度調査では662箇所13,305㎡で年々、増加しています。

みどり率 22.92%

みどり率とは、緑被地面積に公園内の緑で被われていない面積と河川等の水面の面積を加算した面積が、区域面積に占める割合をいいます。区全体のみどり率は22.92%でした。

杉並の都市熱状況

近年、「ヒートアイランド現象」など都市の高温化現象が起きています。

下図は、杉並区の地表面温度を示したものです。



人工衛星データからみた杉並の熱分布 (2006年8月29日午前10時ごろ)

